

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院眼科では、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名：分子生物学的手法を用いた眼感染症起因菌同定法の開発

1. 研究の概要

現在、あなたが罹患している眼感染症が、どのような微生物（細菌、真菌、ウイルスなど）によっておこっているのかを知ることは、診断や加療方針を決定するうえで非常に大切です。しかし、感染を起こしている微生物の種類を明らかにすることは非常に難しく、従来から用いられている塗抹検鏡法や培養法では明らかにできないケースが多いのが実情です。こうした状況に対し、当科ではより感度が高く迅速な分子生物学的手法を用いることで、微生物の種類を明らかにする際の効率を向上させることに成功しており、これまでに学会等でも報告しています。皆さんから採取した検体についても、この手法を用いて解析すると共に、これまでの解析系の詳細を最適化することで、さらに微生物の種類を同定する際の効率を高めてゆく計画です。

また、分子生物学的手法を用いた起因菌同定が可能な施設が宮崎県には存在しないことや、地域連携を目的に料金を徴収せずに解析を行っていることから、県内の病院や診療所から解析依頼検体が多く集まってきており、その中でも解析対象検体が多く存在する宮崎県都城市の宮田眼科病院を共同研究機関として行います。

●この研究は、本学と下記の研究機関との間で、法令等に準拠して作成した共通の研究計画書に基づいてグループを形成し実施されます。したがって、本研究に協力する研究機関は、共通の研究目的と実施計画の下に一体的に学術研究活動を行っております。

なお、検査の依頼があった施設からは、研究協力機関としての位置づけや、提供された情報に関する権利関係や利用範囲を明確にするため「研究用試料・情報等の提供・移動に関する同意書」を取り交わしています。

【当該提供元の施設】

宮田眼科病院（院長：宮田 和典）
県立宮崎病院（眼科医長：荻野 展永）
県立日南病院（眼科副医長：石合 理崇）
新城眼科医院（理事長：風間 成泰）
その他宮崎県下眼科予定

※本学、宮田眼科病院以外の研究機関についてはあくまで診療の一環なので特に特定しません。

2. 目的

感染を起こしている微生物の種類を明らかにすると共に、より効率の良い解析系の構築を目的としています。

3. 研究実施予定期間

この研究は、倫理委員会承認後から平成31年3月まで行われます。

4. 対象者

宮崎大学医学部附属病院眼科または宮田眼科病院、研究協力機関に通院または入院中の眼感染症

の患者さんが対象となります（年齢は20歳以上）。

5. 方法

対象となる方の眼脂、角膜擦過物、結膜擦過物、前房水、硝子体液を試料とします。眼脂、角膜擦過物、結膜擦過物の採取については、点眼麻酔薬投与後に疼痛が軽減している状態下で清潔綿棒・摂子等で結膜および角膜を擦過することにより施行します。点眼麻酔薬の効果により、通常、検体採取時に疼痛が生じることはありません。採取後には感染増悪の防止目的にて抗菌点眼薬を投与します。前房水、硝子体液については、手術室にて通常の適切な手術手技下にて施行します。なお、本研究に供じるのは通常の塗抹・培養検査用として採取した検体の一部のため（採取した検体が著しく少量であり塗抹・培養検査に適さない場合等を除く）、本研究に参加することによって研究対象者に新たに侵襲が生じることはありません。

研究対象者から得られた検体は全てDNA抽出に供じるため、試料は抽出されたDNAの形で保存され、解析を行うまで個人情報に記載せず研究番号を付して-80℃で凍結保存します。試料の保管場所は眼科研究室とし、解析後は、残余検体は速やかに破棄いたします。検査結果は、当該施設にお返ししますが、検査データについては本院でも保存されています。

（試料保管の管理責任者：宮崎大学医学部感覚運動医学講座眼科学分野 研究員 馬渡剛）

宮崎大学医学部附属病院眼科

教授 直井 信久

電話：0985-85-2806

FAX：0985-84-2065